

としとみ

第13回 里・美町連 秋まつり

9月24日(日)、里・美地区センター全館と駐車場を使用し「第13回里・美町連秋まつり」が開催されました。

開会式では、平目町連会長と来賓代表の知野清田区長からの挨拶があり、里塚幼稚園マーチングバンドのオープニング演奏により、まつりはスタートしました。この日は秋晴れに恵まれ、約1300名の地域の皆さんが来場しました。

屋外会場では、町連役員・理事をはじめ地域のボランティアの方々の方々の協力で、焼き鳥やフランクフルトの調理販売や、生ビールとソフトドリンク、地元野菜・果物等も販売しました。そして、子どもゲームコーナーでは射的、輪投げ、ヨーヨー釣り、型抜き、つりぼりなどが行われ、子どもたちが楽しんでいました。

また、椎茸販売のテントやホットドックやジェラートなどのキッチンカーも出店されました。そして、2階視聴覚室のキッズコーナーではリズム体操や手作りおもちゃを楽しむ子どもの声が響きました。

この他、健康測定、共同募金、防災啓発コーナーも設けられました。

多目的室のステージイベントでは、ギター演奏、ダンス、コーラスなどが披露され、最後には「ぎよっち」と出演者たちが一体となって会場を盛り上げ、その後の福引抽選会も多くの来場者で賑わいました。

会場での歓喜や弾む会話、あふれる笑顔に、地域の絆を深める一助になったのではないかと思います。来年もまた、皆様のご来場をお待ちしております。

第34号 2024.1 発行

里塚・美しが丘地区 町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内
電話 011-884-1210

里・美町連
ホームページアドレス
<http://satomitiku.eek.jp/>



防災・防犯部

清田区防災訓練

一刻を争うとき、地域での助けあいが必要ですよ

11月25日(土)、平岡緑中学校にて、今冬の積雪、寒い一日でしたが、「清田区防災訓練」が行われました。5地区町連と区職員など約70名参加しました。知野清田区長より「防災訓練は、緊張感を持って臨んでいただきたいと思ひます」と挨拶がありました。

続いて、NHK札幌放送局 久我剛司さんをお招きして、「地震災害時の行動や普段からの備えについて」の講演がありました。100年前の関東大震災の映像が始まり、その時の被害が10万5千人。火災による被害が多かったそうです。昔々は、「地震の発生時、先ず火を消す」でしたが、昨今は「先ず、身を守る」揺れが収まってから火を消す。無理をすると火傷をするからだそうです。東日本大震災の時は、ローソクでの火災が相次いだそうです。灯りはローソクではなく、懐中電灯やスマホを使うと



良いそうです。

その後、地域住民と区職員で避難所開設訓練を行いました。それぞれ役割分担をし、設営開始です。

Aチームは、受付・避難所入口。水を流さないトイレの準備。Bチームは、一般避難スペース・福祉避難スペースの設営・情報掲示板の設営と進行役の指示を聞き、テキパキと緊張感を持って行動していました。

設営が完了し、進行役に合格点をいただき訓練は終了しました。最後に、水野保健福祉部長より「11月8日に『札幌市・熊本市防災に係る連携協定』を締結しました。今後は、熊本市の実践的な取組から学び、札幌市の災害対策に生かしてまいります」と講評がありました。

長い時間寒中お疲れさまでした。



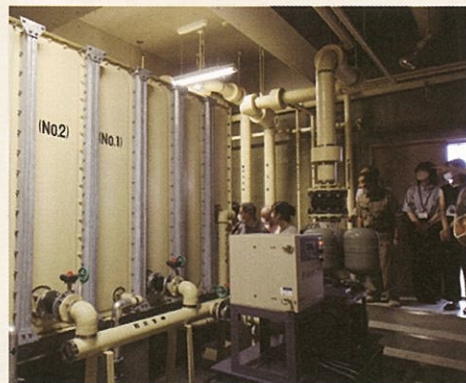
避難所運営研修

防災・防犯部

8月3日(木)美しが丘緑小学校で避難所運営研修が行われました。これは、避難所の運営を担当する区の職員、避難所となる学校の教職員、地域住民が参加し、避難所となる学校の施設等の確認や避難所運営に係る適切な初動対応の確認を行い、災害時の避難所開設、運営能力の向上を図ることを目的に実施されたものです。

参加者は、避難所開設に係る基礎知識や運営イメージの講義を受けたのち、実際に学校内の受水槽などの各施設や備蓄物資の保管場所を確認しました。

その後、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか、意見を出し合いながら模擬体験をする図上訓練型のゲームで、避難所運営を学びました。



体育部

ゲーム&ウォーキング

9月3日(日)コロナの影響で中止の連続だった「ゲーム&ウォーキング」が、4年ぶりに開催されました。数日前まで猛暑だったことが原因なのか、久しぶりの開催の影響なのか、参加者の少ない行事となつてしまいました。

「参加して頂いた皆様には十分楽しんでもらいたいですよ」と、平目会長、山本所長の挨拶の後、元気に出発です。

みんなが元気にウォーキングしている間に、女性部の方には朝もぎトウモロコシを茹でていただき、私はビンゴの景品の準備です。過去の参加人数を元に景品を買ったものから、景品のあることあること。(涙)途中休憩をとりながら、約5キロの道のりを2時間かけて歩き、里・美地区センターへ戻ってきました。まずは茹でたのトウモロコシで小腹を満たし、しばしの休憩の後ビンゴゲームの始まりです。最初にリーチになった人はなかなかビンゴにならないという「ビンゴ」があるあるを痛感しながらも、皆さん楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

来年度はもっとたくさんの方が参加してくれるように、開催日の検討はもちろん、新しい行事にも挑戦していきたいと考えています。



福まちだより

10月20日(金) 午前10時から里・美地区センター多目的室で「いきいき健康講座」が開催されました。



参加者20名はラジオ体操で体をほぐしたあと、介護予防センター職員の指導のもと、ビデオを見ながらさつぽろスマイル体操を行いました。その後、ヨガインストラクターによる椅子に座ったままできるヨガを楽しみました。

日帰りバス旅行

11月16日(木)、日帰りバス旅行が行われました。この行事は、ひとり暮らしの高齢者の方の健康保持を目的に福祉まちの主催で行われるものですが、コロナ禍で中止していたため4年ぶりの開催となりました。

今回のバス旅行は、円山動物園に「こゾウさんを見に行こう」と題したもので、平岡緑中学校区の町内会から、福祉推進員も含め36名が参加しました。当日は寒さが心配されましたが天気に恵まれ、参加者は楽しみにしていた人気の仔象などの動物を見たり、お弁当を食べたり、お土産を選んだりと楽しいひとときを過ごしていました。バス旅行に参加された皆さん、お疲れさまでした。

中学校区ブロック事業について

里・美福まちでは、それぞれの地域で異なる課題について、三中学校をブロックで分けて事業を実施しております。12月4日(月)、羊ヶ丘通り町内会館ホールで、「真栄中学校区ブロック研修会」を開催しました。

関係団体様から、それぞれの分野の説明を受けたあと、各町内会長、民生委員、推進員、地域ボランティアさんが同じグループで町内会の困りごとについてそれぞれの立場で話し合いをして、意思の疎通をはかりました。

その後、これから目玉事業にする予定の、「ポッチャ」についての説明と実技で熱くなりました!!

「ポッチャ」は東京パラリンピックで注目された競技で、だれでも楽しめる事が出来ることを確認しました。

今年度、平岡緑中学校区ブロックでは、11月16日に、円山動物園で可愛い仔象に会いに行ってきました!!

勿論仔象の愛くるしさに感動しましたが、参加した一人暮らしの方々に寄り添う、推進員の皆さんの細やかな姿に感動しました。

町内会での日々の見守り活動のおかげです。いつもありがとうございます。ごさいます。

里・美地区福祉のまち推進センター

運営委員長 後藤 美智子



編集後記

コロナ禍の行動制限が無くなり、地域活動も活発になりました。とはいえ、まだまだインフルエンザの流行や新型コロナウイルスの感染の話も聞こえてきます。寒暖差の激しい季節でもありますので、皆様体調に気を付けてお過ごしください。

- 広報部
- 部長 北村 篤介 副部长 南部由貴恵
- 副部長 奥谷 典子 オザーバー 山本 慶一

里・美町連
ホームページアドレス
<http://satomitiku.eek.jp/>





交通安全対策部

交通安全街頭啓発秋

9月27日(水)、フードDバリュー美しが丘店前で里・美地区の町内会、交通安全母の会、交通安全指導員会、清田区交通安全運動推進委員会、清田区役所などから総勢約80名が集まり、街頭啓発が行われました。

開会式では、平目町連会長、知野清田区長、豊平警察署柴田交通官から交通安全を呼びかける挨拶があり、その後、参加者は羊ヶ丘通歩道から「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた旗を持って、走行する車の運転手に安全運転を呼びかけました。

また、厚別東通(里塚記念会館の向かい側)では、地元町内会など関係者の皆さんに加え、三里塚小学校3、4年生約130名も街頭啓発を行いました。子ども達は大きな声でドライバーに交通安全を訴えました。

交通安全対策部

交通安全街頭啓発冬

11月14日(火)、清田区役所市民交流広場にて木枯らし落葉舞う中、5地区町連が集まり、交通安全指導員、豊平警察署、ハイ・タク協会、トラック協会、区職員、関係団体250名が参加し「交通事故防止集会」が行われました。

初めに、知野清田区長より「交通事故死ゼロが500日を突破し、現在も継続中です」とお話がありました。次に、豊平警察からは「全道では、交通事故で110名が死亡しています。11月、12月は多発する傾向にあります。気をつけてください」と挨拶がありました。

その後、場所を移動し「シートベルト着用」「スピードダウン」と書かれたフラッグを持って、道行くドライバーへ交通安全を呼びかけました。寒い中お疲れさまでした。

子ども防災防犯教室

8月1日(火)里・美地区センターで、小学生約30名が参加し、夏休み子どものための防災防犯教室が開かれました。これは、清田消防署、豊平警察署、豊平警察署少年補導員連絡協議会のご協力を得て、子どもたちに火事や地震、犯罪から身を守る行動を実際に体験してもらう目的で行なわれたものです。

子どもたちは、防災のビデオ鑑賞、119番通報体験のあと、駐車場に移動し、一人ひとり訓練用消火器を使い、放水体験を行いました。

さらに、警察官から防犯標語「いかのおすし」の意味やSNSの危険性、ネットトラブルなどについての説明があり、どの子どもも真剣な表情で話を聞いていました。



環境衛生部

古着回収

里・美町連環境衛生部主催で、ごみ減量化とリサイクルを目的とした古着回収イベントが、10月21日(土)午前10時から里・美地区センター駐車場で開催されました。午後からは雨に見舞われたものの来場者数は286人となり、回収量約3・7トンで昨年を大幅に上回りました。里・美地区を中心に清田区全域のほか豊平区などからもお持込みいただきました。

回収した古着類はリサイクル業者に引き取られ、主にマレーシアなどの東南アジアで衣類として再利用されます。皆様、御協力ありがとうございました。

北海道社会貢献賞

佐藤 三枝子(さとう みえこ)

里塚緑ヶ丘町内会
平成17年から現在まで計18年間の長きに渡り、里塚・美しが丘地区青少年育成委員会委員として子どもを見守る会の事業に携わるなど、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をされたことにより、表彰されました。



青少年育成者表彰

久本 静男(ひさもと しずお)

里塚緑ヶ丘町内会
平成15年度から里塚緑ヶ丘町内会青少年育成部長、平成23年から里・美地区青少年育成委員として、地域の青少年健全育成に関わる活動に積極的に従事された功績により、表彰されました。



〇クリーンさつぽろ実践模範地区表彰

里塚第2町内会(会長 伊藤誠二)
地域の環境美化、環境衛生、リサイクルの推進に努め、永年に渡り功績が顕著であり、これらの活動を現在も実践されていることから、表彰されました。

